

# 研 会 報

No.138

宮崎県教育研究連合会  
事務局 宮崎市西池町9-8(校長会館内)  
TEL・FAX(0985)27-4508  
http://www.miyakyoukenren.sakura.ne.jp/

この文章は、「西郷南洲遺訓」の中に記されているものです。「西郷南洲」とは、ご存じのとおり、西郷隆盛（一八二八〜一八七七）のことです。

「敬天愛人」はその西郷がしばしば額などにしたよく知られている言葉で、西郷が理想とした境地です。天を敬うとは、人として正義を貫き、大いなる自然の理に敬意を払い、大切にすることであり、人を愛するとは、他人を思いやり、愛することです。

西郷南洲遺訓は、庄内藩士らが西郷に弟子入りし、その肉声を書き記した書物です。庄内藩は、幕末には幕府方にあり、西郷の薩摩藩とは敵対関係にありました。その敵対していた元庄内藩士らが、西郷が賊名を負って死んだ後、明治二二年に名誉回復し、東京の上野に銅像が建てられた際、西郷の遺徳を偲んで編纂したものです。

それはさておき、この文章は現代語訳（かなり意訳）すると次のような意味です。

道は天地自然の道なるゆえ、講学の道は敬天愛人を目的とし、身を修するに、克己を以て終始せよ。

道は天地自然の物にして、人は之を行うものなれば、天を敬するを目的とす。天は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心を以て愛人を愛する也。



## 敬天愛人

宮崎県教育研究連合会 会長 楠木 満

人が正しく生きる道というものは、天地自然の道理である。学問というものはその道を知るために、「敬天愛人」すなわち、天を敬い、人を愛するという境地を目的としなくてはならない。そのためには、「己に克つ」ということを心がけねばならない。

道というのは天地自然のものであり、人はこれにのっとって生きるべきものであるから、何よりもまず、天を敬うことを生きる上での目的とすべきである。天は他人も自分も平等に愛してくださる。それとおなじく、自分を愛する心をもって、他人を愛することが大事である。

我が宮崎県教育研究連合会は、今年度で創設五十周年を迎えます。

教育の正常化を目指して、県内七つの地区団体が大同団結したのが、昭和四十四年二月のことでした。そして、その後、半世紀にわたり、宮崎県の教育水準の向上のため、幾多の困難を乗り越えて、活動を続けてきました。

しかし、五十年という年月は社会情勢を大きく変化させ、教育を取り巻く状況も大きく様変わりしました。

児童生徒の学力向上やいじめ・不登校の問題、生命の尊重に係る問題等々、様々な問題が複雑に絡みあった教育現場において、教員の指導力の充実が喫緊の課題となっております。

また、本県は、すでに大量採用の入り口に入っており、今後、新規の教職員が大幅に増加する状況にあります。

そのような中において、我々宮教研連の存在意義と価値は、一層大きくなっていきます。だからこそ、そうした県民からの信頼と期待に応えるべく、新たな足取りを踏み出す必要があるのではないのでしょうか。

五十年の歴史を刻んできた宮教研連にとっては、今年が、新たな五十年の足がかりの年です。これまでの歴史を十分に踏まえつつ、今年度、新たな宮教研連の道筋をつけたいと強く考えているところです。

これからの宮教研連の方向性を考えるとき、私は、この西郷が理想とした「敬天愛人」を今一度考えてみたいと思っております。「敬天愛人」は人生の理想であると同時に、これは組織の理想でもあると思っております。

宮教研連にとって「天」は目指すべき道とは何なのか？ つまり、宮教研連は何を目指し、どこに行くべきなのか？ そして、宮教研連にとって「人を愛する」ことをどう捉えるべきなのか？

これらことをしっかり考え、今後の五十年の道筋を明確にしていくためには、組織の維持拡大が不可欠であり、さらに、各種研修を通して自己研鑽を行い、指導力の向上を図ること、全ての会員が教育専門職として自信と誇りをアツクさせ、指導力を如何なく発揮することが、重要となります。

そう、今こそ、宮教研連の真の存在力を示す時なのです。そして、それを担うのは私たち会員一人一人なのです。

### 第1回・第2回授業力向上研修会

県下の若手教職員（講師、教師を目指す大学生を含む）を対象とし、本県教育を支えるための教師力向上（主に教科指導）を高める研修を通して、本県教育の課題解決に寄与できる判断力・行動力をもった若手教師を育成することを目的として昨年度から取り組んでいる研修です。

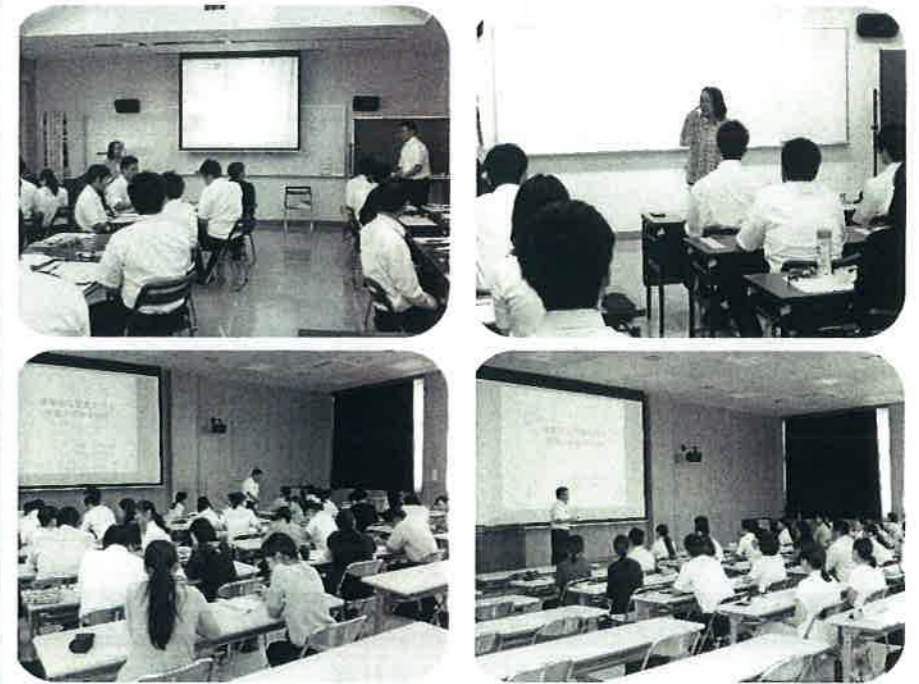
本年度は、第一回目を五月十二日に宮崎小の來住祐子先生を講師に「国語科教育」「学級経営の在り方」をテーマに実施しました。

第二回は、七月二十八日に高岡小の山口孝治先生を講師に「攻撃的な言動のある児童との関わり」について研修しました。

回を重ねるごとに参加者数も増えていきます。本研修が多くの先生方に認知され、口コミで広がっていることを嬉しく感じています。

若手教職員を対象にしています。が、「二十代、四十代での参加も大丈夫ですか？」「管理職だけ参加したい。」等の声も聞きます。もちろん若手教職員だけではなく、自己研鑽に励むベテランの先生方の参加も心よりお待ちしております。

本年度は、第三回（英語）・第四回（理科）と計画をしています。ぜひ、ご自分だけでなく、お知り合いの方を誘い合って共に学びましょう。お待ちしております。



### 署名活動についての御礼

平成三十年八月上旬から九月下旬にかけて実施しました署名活動に対しまして、本県では左記の通り多くの皆様にご協力をいただきました。

内閣総理大臣宛1,653名 衆議院議長宛1,663名

なお、皆様からお寄せいただいた署名簿は、十月初めに全日本教職員連盟へ提出いたしました。この後、全日教連事務局で全国分をまとめ、十一月上旬に国へ提出することになっていきます。皆様の「協力」に深く感謝申し上げます。

### 全国大会・全国規模の研修会にも参加できます（参加者の感想）

次期リーダー研修会に参加させていただき、本団体の素晴らしさを改めて実感しました。他県の先生方と意見交流をしたり、教育に携わる機関を訪問したりと大変充実した2日間でした。日本の教育を支えているのが本団体であり、教育の将来を担っているのも本団体であるという自覚をもち、その一員としてこれからも活動をしていきたいです。今回、このような機会を与えてくださった全日本教職員連盟、そして、宮崎県教育研究連合会には心から感謝します。

(高千穂町立田原小学校 教諭 山元 裕司)



宮教研連の強み  
全国とのつながり  
異業種とのつながり  
仲間が出来ます

今回は、発表者として全国大会に参加させていただき、貴重な経験を積むことができました。第6分科会は、管理職や事務職の方がほとんどだったので、違う視点から学校教育について考える大変よい機会となりました。自分の担当業務だけでなく、「チーム」として学校運営に携わっていかなければならないことを強く感じました。全国大会の検討会から今回の発表に至るまで、役員の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

(高千穂町立高千穂小学校 教諭 川崎 智子)

今年度は、提案者として全国大会に参加させていただきました。自分とは違った視点での考えを知ることができ、今後の研究に生かしたいと思えました。また、他県の提案を聞いたり、交流したりする中で、様々な学びがありました。昨年度の研究から、全国大会までの準備、そして大会当日まで本当にお世話になりました。とても貴重な経験となりました。ありがとうございました。

(宮崎市立本郷小学校 教諭 西口 ゆりか)

組織対策会議

宮教研連は創設五十周年を迎えました。教員大量採用の時代にあっても、教育の不易と流行を見定めなければなりません。また、自己研鑽に励み、資質・能力を高め、チーム学校の推進役として会員の活躍が期待されています。そこで、組織強化のため、宮教研連のこれまでの事業成果の検証と今後の改善策の検討を行ってまいります。



第50回 代表委員会



五月二十六日、宮崎市民文化ホール（イベントホール）において、第五十回代表委員会を開催いたしました。  
全日本教職員連盟事務局長の中道敬様をはじめ多数のご来賓の方々に参列いただきました。宮崎県教育研究連合会として、今年度も事業計画に基づき、各支会・本部主催の多様な研修会が実施されます。会員の先生方が、資質向上のために、積極的に研修会に参加して下さることをお待ちしております。



代表委員会において、これまで宮教研連発展のためにご尽力いただきました前宮教研連会長の待木順一先生へ感謝状が贈呈されました。

『ありがとうございました。』

平成30年度の主な事業計画（11月以降）

月	宮教研連の事業計画	全日教連関連行事
11月	◇第4回宮教研連のつどい 10日 (兼：宮教研連創設50周年記念事業・第4回次世代リーダー養成研修)	各支会で設定した研修会（ブラッシュアップ研修等）も随時開催されます。お手元に届いた案内をご覧になって、ご参加ください。（会員以外の方にもぜひお声かけをお願いします）
12月	◇第5回次世代リーダー養成研修 8日 ◇第4回授業力向上研修 15日 宮崎市田野文化会館 講師：神田昌彦氏・加藤太一氏 「授業の導入をどう楽しくするか 科学マジックショー」	
1月	◇宮崎県親守詩コンクール表彰式 19日 ◇第6回次世代リーダー養成研修 26日	◇教育シンポジウム（高知） 24・25日
2月	◇第2回支会会長・第4回理事長会 16日	◇中華民国訪問研修 3～7日 ◇第8回親守詩全国大会 17日



ホームページが新しくなりました！

宮教研連のホームページをリニューアルオープンしました。アドレスは、<http://miyakyoukenren.sakura.ne.jp>です。よろしくお願ひします。今後は、本部フェイスブックと連動を図るなど、研修の案内や報告を充実させていきます。是非、ご一読ください。また、各支会の活動等ホームページで取り上げてほしい内容がありましたら、本部までお知らせください。

Facebook <https://www.facebook.com/miyakyokenren/>

平成30年度 各支会長・理事長紹介

 二見 会長 (宮崎支会)	 長峰 理事長 (宮崎支会)	 前田 会長 (南那珂支会)	 岩切 理事長 (南那珂支会)	 和田 会長 (都北支会)	 内村 理事長 (都北支会)
 下別府 会長 (西諸支会)	 山崎 理事長 (西諸支会)	 永田 会長 (西都・児湯支会)	 中山 理事長 (西都・児湯支会)	 山田 会長 (日向支会)	 興梠 理事長 (日向支会)
 池野 会長 (延岡支会)	 東坂 理事長 (延岡支会)	 柳田 会長 (西臼杵支会)	 山元 理事長 (西臼杵支会)		

宮崎県教育研究連合会は、教育関係職員としての人格見識の高揚に努め、研修の充実を図り、宮崎県の教育水準の向上に努める教職員の研修団体です。県内に8つの支部を置き、1000名の会員数を有しており、県本部と各支部で様々な研修を実施しています。

平成30年度 研究員紹介

 金丸 研究員 (宮崎支会)	 中村 研究員 (南那珂支会)	 杉尾 研究員 (都北支会)	 木下 研究員 (西諸支会)
 中山 研究員 (西都・児湯支会)	 俵 研究員 (日向支会)	 鷹巣 研究員 (延岡支会)	 佐藤研究員 (西臼杵支会)



日本教育公務員弘済会宮崎支部様より、研究助成金をいただきました。六月十六日（土）の第二回理事長会及び組織対策会議の折に、校長会館にて榎木会長が代表として助成金の贈呈を受けました。研修の充実と宮教研連の発展のため、大切に使用させていただきます。